

作成日 2008年03月03日
改訂日 2009年10月01日
改訂日 2010年12月30日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ディプテレックス粉剤
会社名 保土谷UPL株式会社
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号
担当部門 営業部
電話番号 03-6225-3194 FAX番号 03-6225-3197
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 営業部 電話番号 03-6225-3194
整理番号 0203

2. 危険有害性の要約

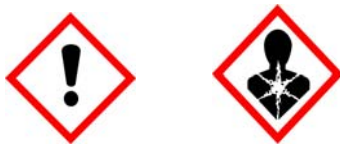
GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼損傷／眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分1
	発がん性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器系、腎臓）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1

*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：発がんのおそれ
臓器（呼吸器系）の障害

長期にわたるまたは反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害
水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

- 【予防策】 使用前に取扱い説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
環境への放出を避けること
- 【対応】 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
取り扱った後、よく手を洗うこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
漏出物を回収すること。
- 【保管】 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	：混合物		
化学名又は一般名	：ジメチル-2, 2, 2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート (一般名：DEP)		
成分	DEP	結晶質-石英	乳化剤等
含有量	： 4.0%	80.8～84.6%	11.4～15.2%
分子式	： C ₄ H ₈ Cl ₃ O ₄ P	SiO ₂	-
官報公示整理番号（化審法）	： -	(1)-548	-
	(安衛法)：2-(3)-110	-	-
CAS No.	： 52-68-6	14808-60-7	-
化学物質管理促進法（PRTR法）	： 第1種指定化学物質第225号 DEP		

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水、
またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石鹸でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常
がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落とし
て着用する。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼した後、痛みがあれば眼科医の手当てを受
ける。
- 飲み込んだ場合 : 意識のある場合は吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。吐き出
すことが困難な場合は無理に吐き出させようとはならない。
解毒剤として硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告され
ている。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水の噴霧、粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など
消火方法 : 消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。
環境に対する注意事項 : 漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作業に飛散、流入しないよう注意する。
除去方法 : 床面などにこぼれた場合は直ちに拭き取り密閉容器に収納する。
二次災害の防止策 : 飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い : ラベルをよく読むこと。
吸い込んだり目や皮膚に触れたりしないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、農薬用マスクを着用してできるだけ風上から作業を行う。
作業後は手足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。
保管 : 密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管し、カギをかける。盗難・紛失の際は警察に届ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない
設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または全体換気を適切に行うことが望ましい。
保護具 呼吸用保護具 : 農薬用マスク
眼の保護 : 保護メガネ
保護手袋 : 不浸透性手袋
保護衣 : 定められた作業衣、安全靴を着用する。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

形状 : 粉末
色 : 類白色

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 (原体) : 100°C (13.3Pa)、298°C (常圧)
融点 (原体) : 83~84°C
蒸気圧 (原体) : 1.04×10^{-3} Pa (20°C)
見掛け比重 : 0.82

溶解性

溶媒に対する溶解性 (原体) : 水、エタノール、ベンゼン、大部分の塩素化炭化水素系溶剤に可溶。
エーテル、四塩化炭素に難溶。石油エーテルに不溶。

オクタノール分配係数 (原体) : $\text{LogP}=0.43$ (20°C)

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担)	医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円)
大阪(365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日、9時~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999